

目 的

ブラウントラウトは国際自然保護連合（IUCN）の「世界の侵略的外来種ワースト100」に挙げられており、近年では本州の河川で侵入・定着が確認されている。1) 那珂川水系黒川では2020年度の調査開始以降、継続的に本種の生息が確認されている。2) そこで今年度は、昨年度の調査でブラウントラウトを除去した区間に加えて新たに3区間で採捕を行い、ブラウントラウトの定着状況を調査した。

材料および方法

2024年12月6日および2025年2月16日に那珂川支流の黒川で調査区間を設定し、電気ショッカーによる採捕を実施した。各調査区での採捕時間は0.5時間、採捕者は2名とした。なお、2月16日の採捕は那珂川北部漁協との合同で実施した。

採捕したブラウントラウトは冷凍保存後に解凍し、全長を計測した。また、生殖腺を目視により観察し雌雄を判別した。判別が困難な個体は未成魚とした。

結果および考察

**調査区間での採捕状況** 黒川4区間及び余笹川1区間で調査を行った（表1）。昨年度も調査した黒川の2区間1区間及び余笹川の1区間では、ブラウントラウトは採捕されなかった。一方、今年度新たに調査した黒川の2区間では、いずれもブラウントラウトが採捕されたものの、その尾数は合計3尾にとどまった。このため、昨年度に実施した除去の効果を本年度の結果のみで評価することは困難であると考えられた。

表1 調査区間ごとの採捕状況

河川名	調査日	調査区間	採捕尾数	前年実施
黒川	12/6	豊原橋上流	0	○
		弥次郎橋下流	1	
		旗 鉾	0	○
	2/16	成 沢	2	
余笹川	2/16	黒田原	0	
	計		3	

**採捕魚の計測結果** 採捕された3尾のうち1尾は成熟した雌で、排卵可能な状態であった。他の2尾は未成魚であり、河川内で引き続き繁殖が行われている可能性が示唆された（表2）。

表2 採捕したブラウントラウトの計測結果

No.	調査区間	全長(cm)	体重(g)	性別
1	弥次郎	597	2593.7	♀
2	成沢	200	76.9	—
3	成沢	110	12.4	—

※—は未成魚

参考文献

- 1) 長谷川功. 外来サケ科魚類ニジマス・ブラウントラウトの定着メカニズムと在来生態系への影響. SALMON 情報 2016 ; 10 : 8-15.
- 2) 酒井忠幸・渡邊長生・村井涼佑・森竜也・野中信吾・関戸章一. ブラウントラウト侵入状況調査. 栃木県水産試験場研究報告 2021 ; 65 : 36.

(指導環境室)